

非接触・非侵襲型バイオマーカー測定システム
FLD[®] (Future Laboratory Data[®]) Series
FLD-A1c[®]



HbA1c、脈拍、酸素飽和度
3項目を同時に、即座に測定。

これまでにない新次元テクノロジーを基に
開発し、遂に製品化。

完全非接触で、侵襲なく
連続的に血中の物質情報を
迅速・高精度に解析。



脈拍

HbA1c

酸素
飽和度

省電力・省資源で、
感染性廃棄物を排出しない
「グリーンテクノロジー」
健康長寿社会実現に貢献する
「医療DXテクノロジー」

Point 1 装置の前に立つだけ

Point 2 複数項目を同時測定

Point 3 いつでも何度でも・眼鏡対応

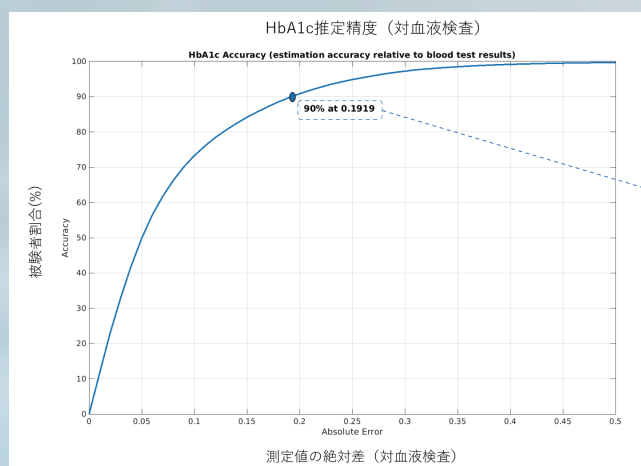


製品仕様

名称	FLD-A1c® (Future Laboratory Data® シリーズ)
型番	FA01-T
電源	AC100V
寸法	H1600 x W452 x D501mm
画面サイズ	12.5inch
測定項目	脈拍、酸素飽和度、 ヘモグロビンA1c(NGSP基準 4.6%~6.5% or 6.5%以上)
測定距離	1m~1.5m (設置環境により調整可)
重量	約54kg (キャスター込)

※製品の仕様は予告なく変更になる場合がございます。ご了承下さい。

■ 血液検査との比較による性能試験



FLD-A1c[®] による測定結果を、血液検査による結果と比較。被験者グループの90%において、血液検査の結果に対し数値の絶対差が約0.19以内に収まった。

待機画面



測定画面



*画面はイメージです。実際の商品とはデザイン・仕様が一部異なる場合がございます。

なぜ非接触・非侵襲？

私たちの「血管内宇宙」に含まれる物質には個人差や日内変動があります。通常、それらの測定にはそれぞれの計測機器や検査試薬が必要です。このシステムでは血液採取などによる身体的負担・時間・コストを大幅に軽減します。

当社独自の生体情報解析AI技術

このシステムは長年の自社独自の複数技術の研究開発により実現しました。三次元解析AI+生体画像解析AI装置などにより、被験者の生体情報を超高速で捕捉・追跡・解析することで、特別な光の照射や試薬なしで複数の生体情報を同時測定可能なシステムを実現しました。

ヘモグロビンA1c(HbA1c)を採血なし・非接触・非侵襲で測定

HbA1cは赤血球の成分であるヘモグロビンと体内のブドウ糖が結合した割合を示し、過去1～2ヶ月の血糖値の推移の目安となります。通常は測定のためには血液検査などの痛み(侵襲)を伴う検査を行う必要がありますが、非侵襲型で実現することで、その測定をより手軽で身近にし、健康管理や健康増進に貢献します。



注記事項

- ・ 本製品は「医薬品医療機器等法」における医療機器には該当していません。
- ・ レンタル契約に際して、お申し込みの際にレンタル約款を必ずご確認ください。
- ・ 本シリーズ製品のご利用に際しては、所定の手順・仕様・マニュアルなどの記載事項に従ってください。
- ・ 本シリーズ製品は、安定稼働に必要なLTE通信によるモニタリングを行うため、電波の届く場所にてご利用ください。
- ・ 本製品の仕様並びにご案内事項は予告なく変更される場合があります。

 **SFMI** 株式会社SFMI

〒141-0031 東京都品川区西五反田1-23-7 五反田シティトラストビル 2階
TEL:03-5496-8080
<https://smartface.co.jp/>

【SFMI製品に関するテクニカルサポート窓口】

tech.support@smartface.co.jp までご連絡下さい。
尚お問い合わせの際は、以下の情報をお伝え下さい。

・ご契約者さま名義、ご担当者名、使用中の製品、トラブルやご相談内容

取扱代理店